



HPVワクチンの公費接種

高校1年相当が最終年度

小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年^{相当}

(平成20年度生まれ)の女の子と
保護者の方へ



公費による HPVワクチンの接種は 2025年3月までです

子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。

毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、

毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。

小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に

子宮頸がん予防のための
HPVワクチンの公費による接種を提供しています。

高校1年相当(平成20年度生まれ)の女の子は、
公費による接種期間の最終年度にあたります。

接種は合計3回です。接種のスケジュールなどについてご不明な点やご相談があれば、

お住まいの市町村にお問い合わせください。

よくあるご質問

Q.接種券はどうしたら手に入りますか？

A.対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。お手元がない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。

Q.2025年3月末までに合計3回の接種を完了できなくても、それまでに行った接種(1回目や2回目)の費用は、公費の対象になりますか？

A.公費による接種の期間である2025年3月末までであれば、合計3回の接種を完了したかを問わず、それまでに行った接種は、公費による接種となります。

HPVワクチン接種について
もっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 HPV

検索



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2024年9月